一般社団法人 北海道地域農業研究所

地域と農業

会 報 第 1 2 5 号 Apr. 2022

特 集 令和3年度 農業総合研修会 日本と北海道の食はエシカルを目指す

レポート 次なる半世紀に向けて 「人と農地」の課題解決に取り組む



はの大地を支える力。

地域に根をはり、全道に広がるネットワーク。 私たちは、農業機械・自動車・燃料などの事業を通じて 日本の食料基地北海道の営農ライフラインを支えます。

株式会社

ホクレン油機サービス

- ●本社/札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1番10号 ☎011(892)1551 FAX011(891)1339
- ●岩見沢支店/岩見沢市4条東15丁目3番地 ☎0126(22)4421
- ●旭川支店/旭川市永山2条13丁目1番28号 ☎0166(48)1181
- ●稚内営業所/稚内市声問 4 丁目 26 番 12 号 ☎0162(26)2111
- ●網 走 支 店/網走市字呼人 382 番地 ☎0152(48)2115

「豊かな大地を包みつづける」



代表取締役社長 時田 明

- 本 社 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル17階 TEL (011) 222-3401 FAX (011) 222-5394
- 工 場 雨竜郡妹背牛町字妹背牛414番地の1 TEL (0164) 32-2490 FAX (0164) 32-3120

地域と農業 Vol. 125

表紙写真:牛乳で乾杯!

写真提供:Becotto (「Essay」参照)





E	次 ————————————————————————————————————
2	観察 ヒツジをめぐる冒険 一般社団法人 北海道地域農業研究所 所長 坂下 明彦
6	特 集 令和 3 年度 農業総合研修会 「日本と北海道の食はエシカルを目指す」 株式会社グッドテーブルズ 代表取締役社長 山本 謙治
27	レポート 次なる半世紀に向けて 「人と農地」の課題解決に取り組む 公益財団法人 北海道農業公社 企画管理担当部長 坂上 悟
38	調査報告 「6次産業化総合調査」にみる 北海道の農業生産関連事業の現状 一般社団法人 北海道地域農業研究所 特別研究員 三津橋真一
48	シリーズ いきいき農業高校 第16回 北海道真狩高等学校
56	Essay Becotto(ベコット)という仲間 浅野牧場 籔内 直美
63	地域農研NOW 新年度を迎え 〜理事会で事業計画を協議・決定〜
66	DATA FILE

たヒツジは草原ではなく、長江デルタの ツジというのはあまり身近な存在ではな ジのことである。炭鉱街生まれの私は小 かった。そんな私が、間近ではじめて見 るのを目にしたりしてきた。しかし、ヒ いヤギが農家の納屋の上ではしゃいでい 〇年代の韓国農村調査で真っ黒いちっちゃ る恐る近づいたり、大人になって一九九 さいころに柱につながれているヤギに恐 江下流の水郷地帯で飼育されているヒツ 年以上もフィールドとしている中国の長 湖羊をご存じだろうか。 私たちが一五 1(圩という)の小屋住みのヒツジ、そ

> う「閉じ込められたヒツジたち」であっ り、草地などあるわけがなく、通年の舎 た(注一)。土地は狭く水田と桑畑だけであ その後、中央アジアのキルギスに行っ

い方に馴染むようになってきた。キルギ

られた鞣革であり、上海から世界に輸出 「濡れ子」や場合によっては胎児から作 皮は湖羊羔皮として世界的に有名であり 飼いで餌には道端のわずかな野草と余っ 遊牧ないし放牧という本来のヒツジの飼 たり、中国の内モンゴルに行ったりして、 された。驚くべき羊飼いである。 た桑葉が与えられる(写真1)。子羊の

に絵になっている(注2)。



ヒツジをめぐる冒険

般社団法人 北海道地域農業研究所 長 坂 下 明 彦

> 決まって彼らは数頭の牛と二〇頭ばかり が馬を乗りこなして行進させる姿は確か をする。草を食むヒツジを小さな男の子 ○○○mの高地に広がる夏営地で群飼い 夫がヒツジをひとまとめにして、標高三、 のヒツジを飼養している。夏には村の牧 土地の七五%が農村住民に配分されたが、 スでは、一九九一年のソ連からの独立後、

うな茹で肉として供され、彼らの文化の らく経った二〇〇〇初年代には次第に草 きまで跳ねていた二頭のヒツジが山のよ 調査の歓迎の宴ではゲルの食卓に、さっ 群れでの放牧は見られなくなっている(注③)。 地の囲い込みが行われ、ヒツジの大きな ダムガチャ(村)であるが、ここでは水平 学生のアドントヤなどと彼女の実家で一 の遊牧を行っていた。草地分割からしば 〇日ばかり調査を行った。東部の赤峰市 中国の内モンゴルには二〇一九年に留



写真 1 閉じこめられたヒツジたち 開弦弓村周仁昌宅 2006年9月10日



写真 2 冬のヒツジたち 内モンゴル達木ガチャ 2022年 3 月15日

ヒツジの世界的な飼養の分布を調べよう

になった。

便利と言えば、

統計処理も同じである。

最も少ない。

「冬のヒツジたち」である。通信も便利

2は彼女の兄に送ってもらった現在の

神髄となっていることを実感した。写真

万頭で三三%を占めている。続いてヨー %を占め、次いでアフリカが四億八〇〇 るとアジアが五億二、七〇〇万頭で四三 億三、九〇〇万頭であるが、地域別にみ 広範囲に飼養されている。総頭数は一二 きる。これを加工したものが表1である。 間にエクセルにデータをダウンロードで ジと頭数、 表が、二時間でできあがるのだ。FAO 用紙を持ち込んで一週間ぐらいかかった (データベース) にアクセスして、 と思い立ったが、以前なら図書室に集計 (国連食料農業機関)のFAOSTAT ヒツジは、旧大陸、新大陸を問わず、 地域、年次を入れると、 、瞬く ヒツ

り、アメリカの八、三〇〇万頭、七%がオセアニアの九、三〇〇万頭、八%とな口ッパの一億二、八〇〇万頭、一〇%、

り、中国についで第二位である。このほ る。インドは単独で七、四〇〇万頭であ 数を誇る。両国ともモンゴル高原がその アジアが拠点であることは間違いない。 と南アジアに匹敵する。東南アジアはイ がそれぞれ八%、五%であり、合わせる かに、西アジアと中央アジアの遊牧地帯 どで一億六、〇〇〇万頭、一三%を占め 南アジアであり、インド、パキスタンな 中心である。ちなみに、日本はというと 億六、三〇〇万頭で世界第一位の飼養頭 近くであり、一六%を占める。 東アジアは中国、モンゴルなどで二億頭 ンドネシアを除くと少ない。このように 一四、二六六頭と桁違いに少ない。 最大の飼養地域であるアジアのうち、 中国は一 次が

このように、羊は日本で考える以上に	が多いが、地域的には九、三〇〇万頭で	国を上回っている。次はヨーロッパであ
ゼンチンが多い。	日本の羊の輸入元としてはオセアニア	は一○カ国に及んでいて、アジアの九カ
力に集中しており、特にブラジル、アル	多い。	一、五〇〇万頭以上の飼養頭数規模の国
後がアメリカであり、ここでは南アメリ	あるが、スペインより、ロシアのほうが	いて、南アフリカも大きな産地である。
○万頭で国別では世界第三位である。最	れている。地中海沿岸の飼養が多そうで	だろうが、アフリカ大陸全体に拡大して
中しており、オーストラリアは六、六〇	の名残なのか、三、四〇〇万頭も飼養さ	いる。地中海沿岸が古くからの飼養地域
オーストラリアとニュージーランドに集	されている。イギリスがエンクロージャー	五つの小地域に飼育頭数がバランスして
八%、地域的には第四位である。ただし、	る。ここには一億二、八〇〇万頭が飼養	続くのがアフリカであるが、ここでは

表 1 羊の地域別頭数(2019年)

	単位: -	千頭、%
地 域	頭数	比率
アフリカ州	407,653	32.9
東アフリカ	106,110	8.6
中部アフリカ	42,236	3.4
北アフリカ	110,981	9.0
南アフリカ	25,526	2.1
西アフリカ	122,800	9.9
アメリカ州	83,350	6.7
北アメリカ	6,058	0.5
中央アメリカ	9,357	0.8
カリブ	2,076	0.2
南アメリカ	65,859	5.3
アジア州	527,186	42.6
中央アジア	58,381	4.7
東アジア	195,943	15.8
南アジア	160,194	12.9
東南アジア	19,348	1.6
西アジア	93,319	7.5
ヨーロッパ州	127,912	10.3
東ヨーロッパ	36,043	2.9
北ヨーロッパ	42,507	3.4
南ヨーロッパ	39,099	3.2
西ヨーロッパ	10,263	0.8
オセアニア	92,619	7.5
合 計	1,238,720	100.0

注)FAOの統計(FAOSTAT)による。

を有している。世界の肉生産量を同デー存在であり、食文化としても独自のもの養方式であり、加工型畜産とは大局的な身近な存在である。放牧を中心とする飼

タで見ると (二〇一九年)、全体が三億

九、三〇〇万トンの水準であり、鶏肉はたし、五〇年前の一九七〇年では全体がたし、五〇年前の一九七〇年では全体がたし、五〇年前の一九七〇年では全体がたし、五〇年前の一九七〇年では全体がたし、五〇年前の一九七〇年では全体が

トンに過ぎず、これらが急速に増産され

一、三〇〇万トン、豚肉も三、六〇〇万

合は減少しているが、これからは環境にというものの、加工型畜産に押されて割このように、ヒツジは増加傾向にある

しれない。

の地位向上が見込まれる。もちろん、ヒ 家庭での消費も徐々に増えており、今後 級肉に位置づけられる。日本でも、ラム 級肉に位置づけられる。日本でも、ラム がなされよう。日本では北海道名物のジ がなされよう。日本では北海道名物のジ がなされよう。日本では北海道名物のジ

こうでは、これでは、これである。

役割も果たしており、その存在は大きな

ツジは肉のほかに羊毛生産という大きな

北海道でも「羊飼い」と称する御仁が増えており、なかなかユニークな人材そろいのようである。青春小説とはいかないが、このワクワクする動物をめぐる冒いが、このワクワクする動物をめぐる冒いよっとすると、わが家のユルタの周りにヒツジの群れを見ることができるかも

注

(注1) 菅豊「閉じこめられたヒツジたちー中国江南農耕社会のヒツジ飼育から見化研究所紀要』35、一九九八

調査からー」『フロンティア農業経済(注3) アドントヤ・坂下明彦・正木卓「内モンゴル牧民の分割相続と家畜飼養形を参照のこと。

研究』24巻1号、印刷中

特集「令和3年度農業総合研修会」につきましては、著作権の関係により電子版では掲載いたしません。

ご了承願います。

Report

次なる半世紀に向けて 「人と農地」の課題解決に取り組む

公益財団法人 北海道農業公社 企画管理本部 企画管理担当部長 坂 悟 1

発公社として設立されました。 の三者により、 その後、平成二一年に、道の「経営・ 当公社は、

革に基づき、一公益財団法人」として移 農業担い手育成センターと統合し、 制の見直し」に基づき、社団法人北海道 ととなり、二四年には、 の担い手育成・確保対策にも取り組むこ 構造政策関係三機関・団体の組織業務体 公益法人制度改 農業

ています。

九万円(令和四年三月三一日現在)となっ

出いただいた基本財産は、

_ 億 五、

北海道、

市町村及び農業団体等から拠

加え、

賃貸借事業による担い手への農地

の集約化に総合的に取り組んでいます。

地保有合理化等事業を通じた売買事業に

管理機構」の指定を受け、それまでの農

にふれさせていただき、 会をいただきましたので、 だければと存じます。 てさらにご理解いただく一助としていた な経過や今後の取組なども含め、 この度、当公社の業務内容の紹介の機 公社事業につい 設立からの主 概括的

設立と運営

連合会、社団法人北海道酪農開発事業団 月に、北海道、北海道生産農業協同組合 実施する公益法人として、昭和四五年六 生産性向上に資する各種事業を総合的に 本道農業の経営規模拡大や 財団法人 北海道農業開

> 変更いたしました。 公社」から「北海道農業公社」に名称を 行認定を受け、 また、二六年には、 併せて「北海道農業開発 道から「農地中間



公社の創立記念式(昭和45年6月)

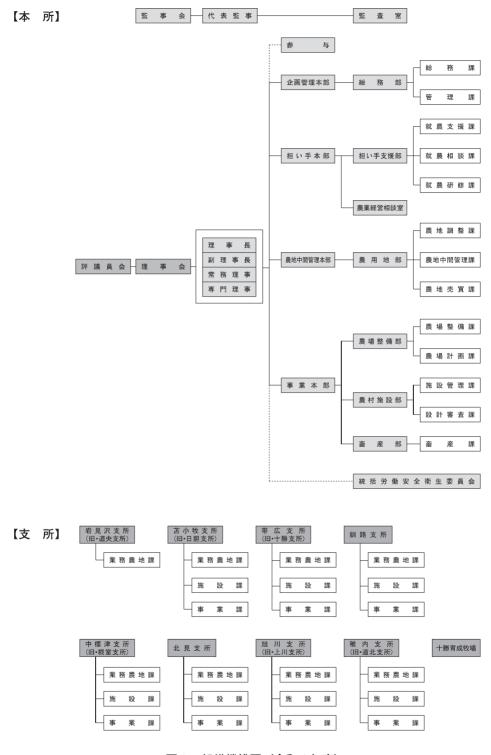


図1 組織機構図(令和4年度)

注:道南支所は令和 4 年 3 月31日をもって日胆支所と統合し、 4 月 1 日から日胆支所を含む 6 つの支所の名称を所在地名に変更

100

545

46 47

48

49 50

51 52

58

2

3

200

300

400

執行及び組織体制

おり、 理事会を構成する「理事」が一二名(う ち常勤である理事長、 業務執行の決定、 議員会を構成する「評議員」が一二名、 現在) は、 行の監査を行う「監事」が二名となって 当公社の執行体制 専門理事が各一名)、理事の職務執 また、 法人の最高議決機関である評 職員数は約二六〇名 理事の職務監視を行う (令和四年四月一日 副理事長、 常務理 事務

(億円)

600

500

所は本所、支所八か所、 一か所となっています。 牧場 (大樹町

事業取扱高の変遷

その時々の環境や施策の変化等を受けて、 千億円を超える規模となっていますが、 その取扱高は五〇年余りの期間で一兆六 や農地流動化、 公社としても様々な対応を迫られ、 など多様な事業に取り組んできており、 畜産振興、 新規就農対策 事業

> います。 兀 が、ここ数年は三〇〇億円程度となって のピークは平成九年度の五五九億円です

取扱高は大きく変化しています。

取扱高

当公社は、

創立以来、

農地・

施設整備

4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 R1 2 3 ■農用地開発整備事業 口担い手対策事業

事業取扱高の推移 図 2

資料:北海道農業公社調べ 注:令和3年度の値は見込値

借を通じて農地利用の効率化及び高度化 農業・農村の活性化をめざす地域の取組 を支援しており、 「農業担い手育成確保事業」、農地の賃貸 当公社は、 国や道の農業施策に沿って、 新規就農等を促進する

主な事業の内容

要は、 う「農村施設整備事業」、 の整備・改良や牧場施設の整備などを行 を通じて農地保有の合理化を促進する が大きな柱となっています。 良牛を供給する「畜産振興事業」の六つ の貸付と受精卵移植技術等を活用して優 する「農用地開発整備事業」、乳肉用牛 する作業機等により土地改良工事を施T を促進する「農地中間管理事業」、 「農地保有合理化等事業」、 次のとおりです。 当公社が所有 飼料生産基盤 各事業の概 売買

農業担い手育成確保

(担当:担い手支援部、農業経営相談室)

1 就農促進支援活動事業

規就農 ターンを含む農業後継者や農外からの新 成・確保を図るため、 各市町村の地域担い手育成センターと連 これからの農業を担う多様な人材の育 研修先・実習先の地域に係る受入情 (新規参入) オンライン相談も活用しなが 希望者等を対象に、 新規学卒者及びU



北海道新規就農フェア (札幌)

援策 であり、四年度からは総合的な就農支 「農業次世代人材投資事業 (準備型)」 就農準備資金 国 の一環として実施が予定) (令和三年度までは ス等を実施

間中の所得の確保に向けた資金の交付 農研修を促進するため、 (最長二年間) を実施 就農前の研修期

青年等の就農意欲を喚起し、

円滑な就

就農支援資金の管理

3

子の就農支援資金(平成七~二九年度) を受けた就農計画に基づき融資した無利 新規就農を促進するため、 知事の認定

の償還等に係る適正な管理を実施

研修生受入体制強化事業

生の家賃助成や大型特殊免許取得のため の 象に研修会等を支援するとともに、 の受入指導農家や担い手育成関係者を対 新規就農の促進を図るため、 部助成を実施 研修生等

農業青年海外派遣等事業

5

か、 農家後継者等を海外へ研修派遣するほ (独立行政法人 国際協力機構) 途上国の行政官や技術者等のJIC 研修

るアドバイ

などに関す 知識の習得 なる技術 って必要と 就農に当た プロセスや 就農までの 介を行い 報提供や紹

6 就農啓発基金事業

受入事業を受託して実施

研究を実施 農村の理解を醸成する活動を行う団体 の支援及び担い手育成確保に係る調査 環境整備への助成、 者や農業後継者の表彰、 優れた農業経営を行っている新規参入 担い手育成や農業・ 就農研修の受入

7 農業経営者総合サポート事業及び六 次産業化サポート事業

化 経営の法人化をはじめ規模拡大や多角 円滑な経営継承等の課題解決に向け

業を三年度から 決に向けて専門 業者等の課題解 化に取り組む農 売までの融合と 業化サポート事 いった六次産業 加工・流通・販 産にとどまらず 経営者総合サポ 断士等)の派遣 士・中小企業診 て専門家 どを行う六次産 ナー)の派遣な 二年度から、 ート事業を令和 などを行う農業 (地域プラン 農産物の生 (税

就農促進支援活動事業 (相談状況)

(単位:人)

/ r/-	業	斤規 就	農相談	Ę	,	豊業体験	実習相談			無料職	業紹介			Ē	t	
年度	道内	道外	計	女性	道内	道外	計	女性	道内	道外	計	女性	道内	道外	計	女性
R元	286	293	579	135	20	53	73	30	1	4	5	1	307	350	657	166
R 2	290	223	513	131	12	12	24	7	3	4	7	2	305	239	544	140
R 3 (※)	206	253	459	119	5	9	14	2	0	0	0	0	211	262	473	121

業経営の規模拡大や組織化を志向する担

また、所有者不明農地等については、

地

(※) R 3 は 4 年 2 月末現在の数値

優遇措置の情報提供などに

層取り組む

農地の集積・集約化を促進 い手や法人等に貸し付けることにより

例の紹介、 体との連携のもと、 活用した優良農地確保への取組を推進 じて基盤整備を行った上で担い手に貸し 域の意向などを確認しながら、 関係機関・団体と一層の連携を図り、 付けるなど、 事業実施に当たっては、 売買等事業との 農地中間管理機構の機能を 制度の周知や活用事 関係機関• 体的推進、 必要に応

寸

農地中間管理事業

(担当:農用地

部

農地流動化の促進

1

縮小・ 備事業との連携によって効率的かつ総合 的な利用を進めようとする農用地等に 「農地中間管理権」を設定 (借受) 農地中間管理機構として、 団地の再編に係る農用地や基盤整 農



農地中間管理事業で農地を集約したTMRセンター

握を推進 とともに、

市町村等との連携

効果的な利用調整が図られるよう連携強 に 化を推進 委員会・農協等へ協力を要請するととも 調整業務などについては、 事業上必要な地域における農用地利用 相互に情報交換・協議を行うなど、 市町村・農業

等を買い入れ、 認定農業者等の担い手へ

利用の集積・集約化を促進するため、

市

地域農業の中心となる経営体への農地

(担当:農用地

部

農地保有合理化等事業

農地売買等事業

1

農・規模縮小農家等から当公社が農用地 中間保有・再配分機能」を発揮し、 農地中間管理機構の特例事業として、 離

3

市町村等との連携

典地市開英田事業の中は

衣∠	(単位:ha	(百万円)					
年 度	農地中間管理権(借受)		貸付		借受農地 管理事業		
	面積	金額	面積	金額	面積	金額	
H 28	1, 278	82	1, 370	88	_	_	
H 29	1, 095	52	1, 064	51	-	_	
H 30	631	43	681	45	-	_	
R元	625	28	694	34	1	1	
R 2	828	37	829	37	2	2	
R3 (見込)	1, 137	42	1, 135	41	4	2	
R4 (計画)	4 700	278	4 700	278	15	12	

表 3

(単位:ha、百万円)

年度	買	入	売	渡
年度	面積	金額	面積	金額
H 28	5, 909	8, 822	5, 769	10, 070
H 29	4, 888	7, 863	6, 973	10, 627
H 30	4, 810	7, 218	3, 491	7, 219
R元	5, 470	8, 113	7, 584	11, 262
R 2	5, 980	8, 255	7, 740	10, 813
R3 (見込)	4, 673	7, 504	6, 036	10, 411
R4 (計画)	6, 300	9, 000	5, 500	8, 848

農地売買等事業の実績

ては、 体との連携のもと、 ための事業を実施 集積・集約化を図る 営地の規模拡大及び 後に売渡を行い、 経営体及び地域のニー

事業実施に当たっ 関係機関・団

との調整を図りながら実施 ト措置の周知に努め、 農地中間管理事業

公社営農場リース事業

実施 導入し、 施設などを整備するとともに、 等事業で当公社が取得した離農農家等の 農跡地の有効活用を図るため、 新規就農者の初期投資の負担軽減と離 一定期間貸し付けた後に譲渡を 乳用牛を 農地売買

税控除などのメリッ ズの把握や譲渡所得

公社営農場リース事業の実績

(単位:百万円)

定期間貸し付けた

年 度	地区数 全 類		振興局別地区数 (該当振興局のみ)						のみ)	
4 及	地区奴	並 観	上川	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室		
H 28	15	1, 009		5	2			8		
H 29	4	281	1	1				2		
H 30	9	759		2	1		1	5		
R元	11	912	1	6	1	2		1		
R 2	10	717	2	2			2	4		
R 3 (見込)	3	190		2				1		
R4 (計画)	10	868	2	5		1	2			

※ 昭和57年度事業開始以来、令和3年度までに427名の新規就農者を支援

機関 町村が策定した「人・農地プラン」 現化に向けた情報の提供や助言等を関係 団体と連携しながら実施 の具 五〇%+道助成

四%+市町村助成

拡大や暗渠排水・

農用地の保全

(草地 \boxtimes

玉 補助

農地集積・集約の加速、

農業の高付加価

農業の競争力強化に向け、

担い手へ

0

農業基盤整備促進事業

値及び生産効率の向上を図るため、

画

再編整備等、 地方公共団体の負担割合の指針。 令和元年度から適用の国が設定した「ガ イドライン」(=土地改良事業における 担い手を主体とした畜産主産地の形成 農地の有効活用を図るため、 (再編整備事業)

回

1

畜産担い手育成総合整備事業

農村施設整備事

(担当:農村施設部

2 畜産環境整備事業

命化と有効活用を図るため、 の維持・管理コストの削減や施設の長寿 家畜排せつ物処理施設 補助事業により整備され、老朽化した (補修・補強) (ストックマネジメント事業) を実施 (堆肥センター等) 機能保全対

表 5 農村施設整備事業の実績

畜産担い手育成 畜 産 環 境 農業基盤 農地耕作条件 年度 総合整備事業 整備事業 整備促進事業 改善事業 3, 717 3,890 27 10 134 4 39 41 4. 399 21 3.956 9 300 5 143 35 19 4, 325 8 74 7 196 34 4,595 17 3, 561 3 19 6 51 26 3,631 R元 R 2 16 2, 453 6 103 22 2,556 21 2,976 15 3 37 25 3,028 1 R 4 (計画) 3, 567 434 3 32 4,077 28 76



農地流動化対策を活用し生産性を向上



TMRセンターの稼働で 地域農業の活性化が期待

の整備を推進すると 機械等の導入を実施 MRセンターや畜舎 生産強化に資するT 負担軽減や粗飼料 ともに、 などの施設整備及び 大に伴う農家の労働 よる支援を有効に活 自給飼料基盤 経営規模拡

(単位:百万円)

備等) を実施

4

おい 域の多 農地 農地耕作条件改善事業 7 農地の 様なこ 中間管理事業の重点実施区域等に 農業者 ī \boxtimes ズに応じたきめ細かな耕 画 あ 費用負担 拡大や暗渠排水など地 の

軽減を図

ιJ

条件の改善を実施

豆 農用 地 開発整備 事

(担当:農場整備部

業



2

受託事業

を考慮しつつ対応

などにより、

地

域差のある適期施工

蒔 期 瑌

独自に開発改良した機械と技術を用いて

テ

ィングソイラー)

をはじめ、

当公社が

や排水対策工法(有材心土改良耕・カッ

石礫対策工法(ストーンクラッシ

t

有材心土改良耕 (特許第 5114440 号)

バーク堆肥・貝殻等の疎水材を投入し、 透排水性や作物の生産性の向上を図る工



験をもとに、

当公社設立以来の蓄積された技術と経

草

地

整備改良等を施工しており 農村施設整備事業における

Т

-を活用-の造成・

た効率的な作業・

工程管

1

直営事業

地域資源活用型心土改良耕 (特許第 5077967 号)

堆肥・ワラ等の有機質資材を活用し、生 産性の高い土壌に改善する心土改良工法。 (2012国の技術普及に選定された)



石れき破砕工法

ほ場内で石礫を破砕し、作物の初期育成 の促進・生産性の向上・品質確保を図る 工法。

図 3 左から「有材心土改良耕プラウ」「カッティングソイラー」「ストーンクラッシャー」

表 6 農用地開発整備事業の実績

(単位:ha、百万円)

年 度	直営	事 業	受 託	事 業	Ē	t
平 及	面積	金 額	面積	金 額	面積	金 額
H 28	3, 759	1, 960	8, 230	1, 150	11, 989	3, 110
H 29	3, 710	2, 136	10, 395	1, 607	14, 105	3, 743
H 30	2, 881	1, 470	10, 306	1, 575	13, 187	3, 045
R元	2, 718	1, 383	10, 246	1, 678	12, 964	3, 061
R 2	2, 610	1, 449	9, 910	1, 687	12, 520	3, 136
R3(見込)	2, 802	1, 772	9, 040	1, 591	11, 842	3, 363
R4 (計画)	3, 279	2, 089	7, 543	1, 144	10, 822	3, 233

草地 からの受託により施丁 改良整備等の基盤整備 施工体制 に応えるため、 各JA・農業者との深いつながりと信 整備改良を主体に、 更なる技術の向上やア を ・関係機関 耕地 整 関 備 土 団

層 体

アターケアの充実に努力

▼ 技術担当職員

▼クローラトラクター他

一五五台

公社保有機械特許取得作業機

八三

(担当:畜産部、十勝育成牧場 **畜産振興事業**

① 乳用牛貸付事業

 \mathcal{P}

(※)を活用した五年以内の貸付制度によ者、または農地所有適格法人を主体とし乳用牛の資質向上を志向する酪農経営

り乳用牛の導入を支援

運用財産されたもので、乳用牛を導入するための用牛の貸付事業を継承するにあたり出捐(※)昭和四五年度に酪農開発事業団から乳

イ 農場リース型

する新規就農者に対し、畜産振興資金を公社営農場リース事業で乳用牛を導入

上联至成份是(土掛町)の会具(佐乳珠上粉草地)

十勝育成牧場 (大樹町) の全景 〔施設群と牧草地〕

施

牛の導入を支援活用した五年以内の貸付制度により乳用

肉用牛貸付事業

2

優良肉用牛貸付事業

付制度による支援を実施の新規参入や、繁殖牛群の改良を図る畜産農家が導入する優良繁殖雌牛に対し、の新規参入や、繁殖牛群の改良を図る畜図ることを目的として、肉用牛繁殖経営図ることを目的として、肉用牛繁殖経営

表 7 畜産振興事業の実績

(単位:頭、百万円)

年 度	乳用牛負	付事業	肉用牛貸	貸付事業	乳肉用牛	育成事業			
十	頭 数	金 額	頭数	金 額	頭数	金 額			
H 28	912	650	348	314	1, 595	968			
H 29	301	254	358	363	1, 697	1, 106			
H 30	903	803	342	329	1, 823	1, 180			
R元	738	586	349	353	1, 877	1, 071			
R 2	563	426	304	266	1, 967	1, 081			
R 3 (見込)	406	260	283	267	1, 925	984			
R4 (計画)	687	471	350	370	1, 921	1, 010			

乳肉用牛育成事業

3

主体による乳用牛育成と肉用牛生産を実おり、高生産性をめざした放牧(粗飼料)八頭(令和四年二月末現在)を飼養して育成牧場においては、乳肉用牛一、〇九当公社が十勝管内大樹町に所有の十勝

る妊娠牛供給等の取組を実施産のほか、肉用牛貸付事業との連携によ参加や受精卵移植による候補種雄牛の生を活用した新規種雄牛現場後代検定への特に肉用牛に関しては、一貫生産体制

ただいております。

五 今後に向けて

「人と農地」に係る構造施策の総合的で人と農地」に係る構造施策の総合的で大力を担う当公社は、以上のように幅は、業務、昨年六月からの「北海道農業経営相談所」では、業務、昨年六月からの「北海道農業経営相談所」が、一時年度からの「北海道農業経営相談所」が、一時年度からの「北海道農業経営相談所」で、大世ンター」業務(=それまでの北海道中小企業総合支援センターに替わり、当な推進を担う当公社は、以上のように幅は、以上のように幅は、以上のように幅は、以上のようににいる。

%

五〇年間にわたる当公社の業績と足跡

団体などに定期的にメール配信させていとで、「農業公社ニュース」を関係機関・さらに、一昨年一〇月から、当公社の取業)もスタートさせていただこうというこ業の整備事業(ストックマネジメント事環境整備事業(ストックマネジメント事

す。 おかげさまで、当公社は一昨年六月一 田に創立五〇周年(※)の大きな節目を りした新たな業務にも果敢にチャレンジ していくとともに、当公社の取組を広く 情報発信しながら、次なる半世紀に向け た歩みを着実に進めていくことが重要で た歩みを着実に進めていくことが重要で

で文字検索も可能)しておりますので、スライドショーとともに当公社ホームペースライドショーとともに当公社ホームペーについては、(一社)北海道地域農業研究

https://www.adhokkaido.or.jp/50th.htm ご高覧いただければ幸いです。

図にする、 農業を担う者ごとに利用する農用地を地 概要は、 会期内での成立をめざしています。その 牛の市場価格の下落による影響などが出 当公社の事業においても、 ています。 ク)の事業範囲の拡大などが盛り込まれ ③さらには農地中間管理機構 定化するとともに、②地域計画の中で、 市町村が策定する「地域計画」として法 法等の改正案を開会中の国会に提出し、 ていかなければならないものと存じます。 係者が一体となって、この難局を乗り切っ ておりますが、工夫を凝らしながら、関 フェア等の開催が困難となったり、 来の新型コロナウイルス感染症により 時を同じくして、一昨年 また、国では、農業経営基盤強化促進 今国会での法案成立後、 ①現行の「人・農地プラン」を いわゆる「目標地図」の作成、 今後のスケジュールについて 対面での就農 (令和二年) 施行は令和 (農地バン

れています。一日までを期限として作成する予定とさら二年を経過する日である令和七年四月農地プラン)」の作成は、改正法施行か黒年四月一日、「地域計画(現行の人・

きがによらの(図1のとおり)とよりまり きがによらの(図1のとおり)とよりま でいる現行の第三次中期経営方針(令和 本年度は、当公社が三年ごとに策定し 本年度は、当会での論議等を注

本年度は、当公社が三年ごとに策定し本年度は、当公社が三年ごとに策定したが、各般の取組等について、過去二したが、各般の取組等について、過去二したが、各般の取組等について、過去二したが、各般の取組等について、過去二したが、各般の取組等について、過去二したが、各般の取組等について、過去二世間の実施状況を精査しつつ着実な推進を図るとともに、公社事業を取り巻く諸を図るとともに、公社事業を取り巻く諸を図るとともに、公社事業を取り巻く諸を図るとともに、公社事業を取ります。

当公社をめぐる状況は、ここ数年を見

置きながら、二つの連携(=「公社内のし、役職員はこれらの内容を常に念頭にも、左図の三つの項目を「基本姿勢」とても大きく変化しておりますが、今後と

続き貢献していくこととしています。北海道農業・農村の持続的な発展に引きの連携」)をもって「総合力」を発揮し、連携」をベースに、「関係機関・団体と



図4 三つの基本姿勢

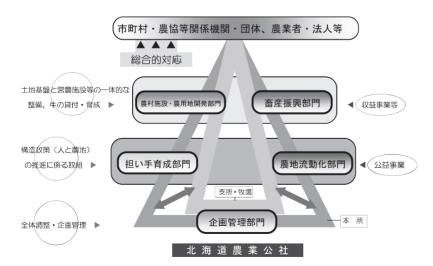


図5 公社事業の地域に対する総合的対応

※「第3次中期経営方針」(令和2~4年度)より抜粋

調査報告

一六次産業化総合調査」にみる 北海道の農業生産関連事業の現状

一般社団法人 北海道地域農業研究所 特別研究

光所 特別研究員 二津橋

産業化は国の農業・農村振興施策の重要がの活用により新たな付加価値を生み出い、農業・農村の所得向上をめざす六次の農林水産物の利用促進に関する法律」がの農林水産物の利用促進に関する法律」がの農林水産がの利用促進に関する法律」が、農業・農村の所得向上をめざす六次を業化は国の農業・農村振興施策の重要を業化は国の農業・農村振興施策の重要を業化は国の農業・農村振興施策の重要を開いた農場が、

と創生総合戦略」を受け、都道府県や市地方創生では、国の「まち・ひと・しごしごと創生法」に基づき進められてきた平成二六年に制定された「まち・ひと・

な柱の一つとなった。

町村は「地方版総合戦略」を策定し、住 民とともに人口減少や地域衰退の課題に 大で地域の活性化を図る主要な施策として、地域の特性に応じた六次産業化や農 保や地域の活性化を図る主要な施策として、地域の特性に応じた六次産業化や農 で、地域の特性に応じた六次産業化や農 で、地域の特性に応じた六次産業化や農 で、地域の特性に応じた六次産業化や農 で、地域の特性に応じた六次産業化や農 で、地域の特性に応じた六次産業化や農

を行い(本格的には翌年度から)、「農産成二二年度から「六次産業化総合調査」程度進展しているのであろうか。国は平推進してきているが、六次産業化はどの国は多様な支援策を講じ六次産業化を

現状について紹介する。
現状について紹介する。
現状について紹介する。
現下、この総合調査のデータを基に、以下、この総合調査のデータを基に、以下、この総合調査のデータを基に、以下、この総合調査のデータを基に、

年間総販売金額等の動向

示した。年間総販売金額は平成二二年度間総販売金額と事業体数の推移を図1に北海道における農業生産関連事業の年

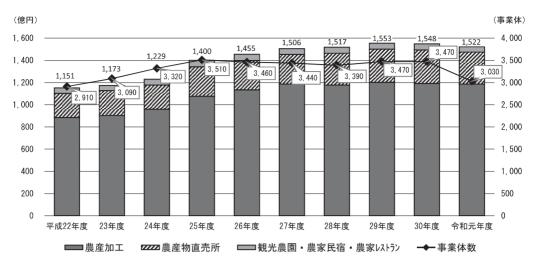


図1 北海道における農業生産関連事業の年間総販売金額および事業体数の推移

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

ている。北海道では農産加工が

金額割合(令和元年度)

を示り

図2には業態別の年間総販売

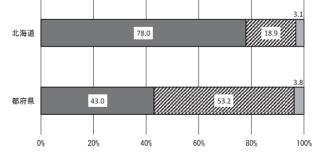
分を占めるのは都府県も同様で 大別、農産物直売所が一八・ 大別、農産物直売所が一八・ 大の業態で九六・九%を占める。 で、この二 で、この二

る 七%)減少した。全国(二兆七 三〇年度はほぼ横ばい、 事業体) り四四〇事業体(一三%)減少 三、〇三〇事業体で、 年度は一、五二一億八千万円で、 しており、全国 は七・三%である。 七二億五千万円)に占める割合 前年度より二五億八千万円(一・ の四・七%を占めてい (六四、〇七〇 事業体数は 前年度よ 令和|

以降二九年度まで増加し、

平成

あるが、 東山が最も多く五、一六〇億円(全国比 金額 低さ)が際立っている。 工の割合の高さ(農産物直売所の割合の 三・〇%となっており、 五三・二%と過半を占め、 図3には全国農業地域別の年間総販売 (令和元年度) 都 府県の場合は農産物直 を示している。 北海道の農産加 農産加工は四 関東 売所が



■農産物の加工 □農産物直売所 □観光農園・農家民宿・農家レストラン

図 2 業態別の農業生産関連事業年間 総販売金額割合(令和元年度)

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

一匹・八%

Ċ

次いで九州が

五%)、 るが、 % 中国 七億七千万円)、 総販売金額は北海道が一位であ る。 東・東山(五五・五%)、 五割を超えるのは東北 三・四%)で、 の販売額が五割を超えるのは、 加工と農産物直売所の割合をみ 三、八四三億円 と拮抗している。 東海が二、七四〇億円(一三・ (五〇・六%)、近畿 一%)などとなっている。 なお、 農産物直売所が四七・七% 九州は農産加工が四九・六 沖縄 五一・〇% 北海道と同様に農産加工 次いで静岡県 北陸(六一・五%)、 都道府県別にみた年間 (六六·六%) 農産物直売所が (一八·五%) 福岡県 と四国 (六八・ (五九 八 であ 東海 農産 五 関

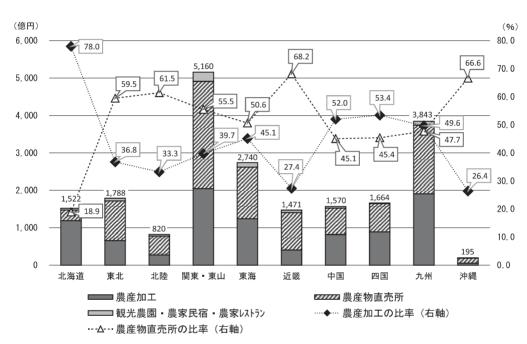


図3 全国農業地域別農業生産関連事業の年間総販売金額(令和元年度)

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

【参考】全国農業地域別所属都道府県

【多名】王凶辰未地以为乃周即迫刑乐									
全国農業地域名	所属都道府県名								
北 海 道	北海道								
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島								
北陸	新潟、富山、石川、福井								
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野								
東海	岐阜、静岡、愛知、三重								
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山								
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口								
四国	徳島、香川、愛媛、高知								
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島								
沖 縄	沖縄								

 一農協等」という。)による販売金額が九

事業体別には、農業協同組合等

五億円と七七%を占めており、

農協等

三〇〇人が雇用者である。 (平成二四年度から農業協同組合等が運

営する農家レストランが調査の対象に加

えられている。 業態別の動向

農産加工

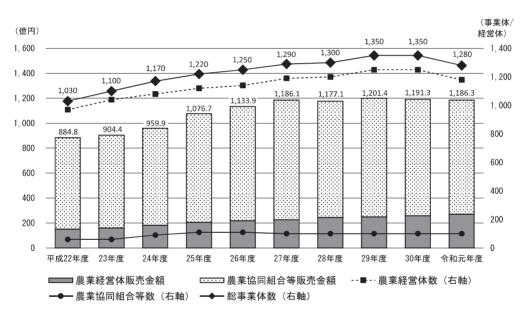
の割合 超えたが、 農産加工の年間販売金額は平成二九年度 額と事業体数の推移を図4に、 までは増加傾向にあり一、二〇〇億円を 北海道における農産加工の年間販売金 令和元年度は一、 (令和元年度) その後はわずかに減少してお 一八六億円となっ を表1に示した。 事業体別

た。

事業体数は平成三〇年度までは増加

してきたが、令和元年度は減少に転じ

一八〇経営体となった。



北海道における「農産加工」の年間販売金額および事業体数の推移 図 4

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

%に満たない。 ら事業体数では全体の八 業体数の九二%を占める 農業経営体の販売金額は かなり高い。 |七|億円と総額の二|| 取り組みのウエイトが しかしなが 一方 事

「農産加工」の事業体別割合(令和元年度)

()当(5,0/1)

E /\	事業	体数	年間販	売金額
区 分	農業経営体	農業協同組合等	農業経営体	農業協同組合等
北海道	92. 2	7.8	22. 8	77. 2
都府県	94. 6	5. 4	41. 0	59. 0

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

%である。

都府県では、

事業体数に占め 割合は北海道と

較

平成23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 0,5₇ 2.8 3, 令和元年度 37.5 1.9 7 1,3 1.3 令和元年度 10.1 29.0 8.4 47.9 (都府県) 10% 20% 30% 40% 100% 0% 50% 60% 70% 80% 90% □100~500万 ■500~1,000万 ■100万円未満 ■1,000~5,000万 ■3億円以上 □5.000万~1億 ☑1~3億

北海道における「農産加工」年間販売金額規模別 図 5 事業体数割合の推移等

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

(万円) 10,000 北海道 9,000 8,000 7.000 6,000 四国 5,000 4,000 3,000 2,000 1,000 0 平成23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 令和元年度

全国農業地域別「農産加工」1事業体当たり 販売金額の推移

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

が全体の六五%を占めている。 最も多く三八%、次いで一〇〇万円未満 北海道における推移と都 が二八%となっており、 (元年度) (令和元年度) は一〇〇~五〇〇万円未満が を図5に示した。 五〇〇万円未満 府県との 平成三 北 比 海

経営体が四一%

農協等が五九%とな

次に、

販売金額規模別事業体数割合の

る農業経営体や農協等の

さほど変わらないが、

販売金額では農業

全体の七七%を占めている。 八% 方都府県は一〇〇万円未満が最も多く四 以上を占める状況は変わっていない。 年度以降、 一九%となっており、 次いで一〇〇~五〇〇万円未満が 五〇〇万円未満が全体の六割 五〇〇万円未満が

北海道では

超えたが、

令和元年度は前年度より減少

し二八八億円となった。事業体数は近年

年度までは増

加傾向にあり三〇〇億円を

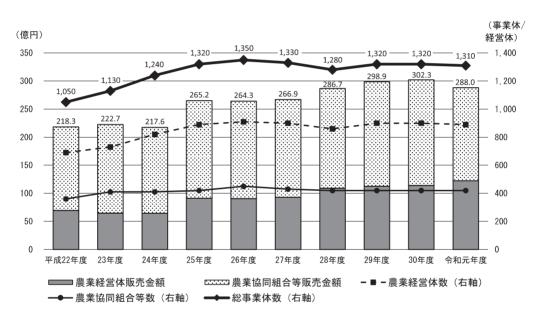
産物直売所の年間販売金額は、

平成三〇

五〇〇万円以上の層の割合が都府県より 一〇ポイント以上高

少しているものの五、 は九、三〇四万円で、 を図6に示した。北海道 大きいのは四国で前年度よりも大きく減 全国の農業地域別では、 六六一万円)の三・五倍となっている。 北海道では農協等が先立って規模の大 事業体当たりの年間販売金額の推移 七三三万円となっている。 三三五万円、 都府県平均 北海道に次いで (令和元年度) 九州

きな農産加工が取り組まれている。



北海道における「農産物直売所」の年間販売金額および事業体数の推移 図 7

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

割合

(令和元年度)

を表2に示した。

と事業体数の推移を図7

i

事業体別

 \mathcal{O}

北海道の農産物直売所の

车 蕳

販売金額

農産物直

売所

なった。 横ば 売金額は全体の四割強 体が占めており、 体数の六八%を農業経営 度は一、 事業体別にみると事業 い傾向にあり、 三一〇経営体と 年間 0 販

表 2 「農産物直売所」の事業体別割合(令和元年度)

(単位:%)

区分	事業	体数	年間販	売金額
区分	農業経営体	農業協同組合等	農業経営体	農業協同組合等
北海道	67. 9	32. 1	42. 4	57.6
都府県	56. 5	43.5	15. 9	84.1

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

| _ | | | | | | 億円であった。

事業体数の三

%

販売金額の八四%を占めている。 が北海道より高く、 業体数や販売金額に占める農協等の割合 六六億円であった。 を占める農協等の販売金額は六割弱の 事業体数の四四% 方都府県では 事

Ξ % 未満が二八%の順となっている。 北 (元年度) (令和元年度) 海道に 次いで五〇〇~一、 におけ は を図8に示した。 北

次に、 販売金額規模別事業体数割合の る推移と都府県との比較 〇〇万円未満が最も多く 000万円 都府県 海道

合は北海道よりも八ポイント高い。 ているものの、 で、五〇〇万円未満の割合が五割を超え 二七%、次いで一〇〇万円未満が二五% では一〇〇~五〇〇万円未満が最も多く 事業体当たり年間販売金額の推移を 000万円以上の 割

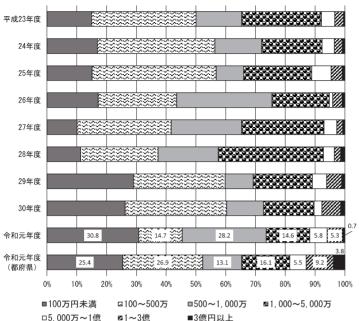
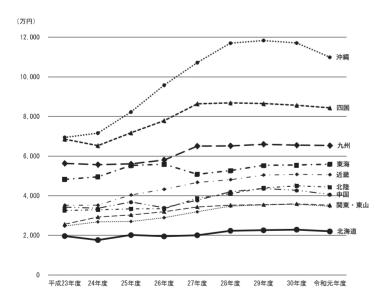


図8 北海道における「農産物直売所」年間販売金額規模別 事業体数割合の推移等

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」



全国農業地域別「農産物直売所」 1 事業体当たり 販売金額の推移

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

金額規模別の農業経営体数は、一〇〇万ずれも前年度に比べ減少している。売上

表 3

図9に示した。北海道(令和元年度)は図9に示した。北海道(令和元年度)は にかると、最も大きいの は沖縄で一億九九一万円、次いで四国がは沖縄で一億九九一万円、次いで四国が となっており、北海道(令和元年度)は 図9に示した。北海道(令和元年度)は

たりの販売金額規模もかなり小さい。取り組みのウエイトが低く、一事業体当は、「農産加工」とは逆に農協等による都府県に比べ北海道の「農産物直売所」

その他の業態の売上金額等(令和元年度)

の令和元年度の売上金額等を表3に示し

観光農園、

農家民宿、農家レストラン

北海道の観光農園の年間売上金額は二

経営体数は二一〇経営体で、

 \equiv

観光農園・農家民宿

農家レストラン

区	分	総額(百万円)	1 事業体 当 た り 売上金額 (万円)	事業体数 (事業体)	売上金額規模別事業体数割合(%)					
					計	100万円 未満	100~ 500	500~ 1,000	1,000~ 5,000	5,000万円 以上
観光農園	北海道	2,066	993	210	100.0	42. 2	27. 5	10. 4	14. 2	5. 7
	都府県	33, 877	666	5,090	100.0	35. 5	31.4	16. 3	15. 1	1.7
農家民宿	北海道	286	240	120	100.0	73. 5	12.8	3. 4	10.3	-
	都府県	5, 123	414	1,240	100.0	59.4	23. 1	5. 4	10.9	1. 1
農 家 レストラン	北海道	2, 401	1, 968	120	100.0	10. 7	19.0	30.6	26. 4	13. 2
	都府県	33, 295	2,687	1,240	100.0	16.8	21.6	15. 1	31. 3	15. 2

六割弱である。

の年間売上金額は二四〇万円で都府県の

七割以上を占めており、

一経営体当たり

別の農業経営体数は、一〇〇万円未満が前年度を大きく下回った。売上金額規模

業経営体数は一二〇経営体で、いずれも

万円で都府県の一・五倍となっている。

農家民宿の売上金額は二・九億円、

円未満が最も多く四二%、次いで一〇〇

~五〇〇万円未満が二八%を占めており

経営体当たりの年間売上金額は九九三

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

世界である。 本年度に三六億円を超えたが、その後減 五年度に三六億円を超えたが、その後減 少傾向にあり、令和元年度は二四億円と たった。事業体数は一二〇事業体である。 売上金額規模別の事業体数は、五〇〇〜 一、〇〇〇万円未満が最も多く三一%、 次いで一、〇〇〇万円未満が最も多く三一%、 次いで一、〇〇〇十十末 が二六%を占めており、一事業体当たり の年間売上金額は一、九六八万円で都府 県の七割程度である。

兀 北海道における 六次産業化の進展状況

比ベー・三%減少した。 四億円から年々増加し平成二八年度には 売金額は、 令和元年度は二兆七七三億円と前年度に 一兆円を超えるなど増加傾向にあったが、 我が国の農業生産関連事業の年間 平成二二年度の一兆六、 五四 総販

ているが、

都府県は逆に農

産物直売所の増加率

<u>一</u>八·

(三一・九%) を若干上回っ

元年度は一、五二二億円と前年度より減 億円から同様の傾向を辿ってきたが、 北海道においても二二年度の一、 — 五

少している。都道府県別にみると全国トッ

農産加工のウエイトが極めて高いという める北海道の割合は平成二二年度の七 特徴がある。 ブの年間総販売金額であり、 全国の年間総販売金額に占 業態別には

○%から元年度は七・三%とわずかに増 表4に平成二二年度と令和元年度を対

であるのに対し、

農協等の

表 4

体

が 加工の増加率(三四・一 主要業態別にみると、 五・一%)を上回っている。 減率を示した。 一•二%増と都府県 農産物直売所の増 北海道は三 +--農産 加 % 率

いる。 (二〇・一%) を上回って 八%)が農産加工の増加率

農業生産関連事業年間総販売金額の増減率(平成22年度/令和元年度)

加工 の傾向が顕著で、 ている。 協等による増加率を上回 業経営体による増加率が農 の増加率が七〇%台後半 事業体別にみると、 農産物直売所とも農 特に北海道ではこ 農業経営 農産

比した年間総販売金額の増

							(単位:%)	
E /\	年 間 総		農産加工		農産物直売所			
区 分	販売金額	農業経営体	農協等	総 額	農業経営体	農協等	総額	
北海道	32. 2	79. 3	24.8	34.1	75. 4	11.6	31. 9	
都府県	25. 1	33. 7	12. 1	20. 1	64. 1	23. 7	28.8	
東北	32, 5	59. 4	24. 7	41.8	57.8	24. 1	29. 2	
北陸	37. 9	31. 7	106. 7	58.0	122. 7	14. 2	27. 3	
関東・東山	27.9	32.0	20. 2	25. 9	38. 9	27. 7	29. 5	
東 海	27. 2	26. 6	21.3	23.5	65. 5	22. 1	28.6	
近 畿	15. 1	15. 6	-41.6	-12.0	43.8	29. 1	30. 4	
中 国	13. 2	73. 5	-0.6	8.9	38. 6	15. 3	18.7	
四 国	39. 4	84. 0	36. 9	46. 4	101.2	27. 9	32. 1	
九州	16. 5	16. 4	1.6	6.0	153. 6	18.0	27.5	
沖縄	85.0	198. 0	86. 4	161.6	92. 5	69. 5	72. 1	

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

注:塗りつぶし箇所は、北海道より増加率が1ポイント以上高い

全国

]の農業地域別にみると一〇%~三〇

10に示した。

農業生産関連事業の比率を

て農業生産関連

事業の比率を算出し、

図

の年間総販売金額の和を分母に、

農業生

産関連事業の年間総販売金額を分子にし

農業産出額と元年度の農業生産関連事業

さになっているのだろうか。

令和

紀元年の

()

は農業生産事業に対してどの程度の大き

こうした状況にある農業生産関連

事業

%の間にあり、

全国平均では一八・九%

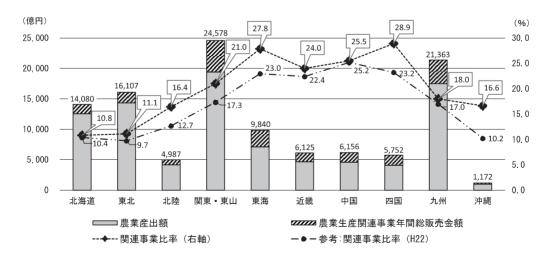
では、 増加率は一〇~二〇%台である。 てきたことがうかがえる。 農業経営体の取り組みが活発になっ 北海道

たいずれの地域も、 増加率が北海道とほぼ同等の東北を含め 率が北海道よりも大きいのは、 加工による増加率が農産物直売所よりも (八五・〇%)、 全国の農業地域別に総販売金額の増加 (三七・九%) で、これらの地域に、 中国 北海道と同様に農産 (三九・四%)、 順に沖縄 北

> 七・八%)、中国 %)と続く。 最も低い。最も高いのは四国 と東北 (一一・一%) である。 (二八・九%) で、 北海道は一〇・八% <u>二</u>五·五 東海 と並び

が沖縄 比率がほとんど変わっていな と四国(+五・九ポイント) が続いている。北海道はこの ベ五ポイント以上増加したの 平成二二年(度)の比率と比 (+〇・四ポイント)。 東海(+四・九ポイント) (+六・四ポイント)

て



全国農業地域別の農業生産関連事業比率(令和元年(度)) 図10

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」、「生産農業所得統計」

きりき農業高校 第16回 北海道真狩高等学校

地域の概要

真狩肘の概要

知られるようになってきました。 駅、羊蹄山の湧き水、地場産の リ根は、全国一の出荷量を誇っ 根、人参などで、中でも食用ユ 良さを楽しめる観光地としても るお客様が訪れるなど、 材でもてなすレストランや道の な景観の一つとなり、地元の食 の花のフラワーロードが代表的 ています。さらに近年は、 主要な作物は、じゃがいも、 くに位置し、農業を基幹産業と れ親しまれている羊蹄山の南ろ 洞爺湖の北、「えぞ富士」と呼ば 豆腐、ジャム、パンを買い求め して発展してきた純農村です。 真狩村は北海道中西部にあり、 農村の ゆり 大

\subseteq 真狩高校の概要

げてきました。 モデル校として先駆的な教育の成果を上 図り、地域と密接に連携した農業高校の と要請を受けて教育内容の再編と充実を で「我が村の高校」として、 本校は、 創立七四年を迎える歴史の中 地域の期待

認証取得に取り組んでいます。「野菜製 野菜・作物の基本的な栽培技術の習得 たスマート農業、 ロボットトラクターやドローンを活用し ました。現在、「有機農業コース」では、 や時代背景に応えるものとして導入され と考え、平成二五年に現在の「有機農業 のスペシャリストを育成することが重要 る系統的な学習活動を通して「農業と食」 加工、調理などの技術を備え、 者として農作物の栽培だけではなく食品 コース」「野菜製菓コース」が地域特性 農業の六次産業化が叫ばれる中、 有機JASやGAPの 販売に至

生産

います。

では製菓衛生師の資格取得に取り組んで販売、各種コンテストへの挑戦、三年生販売、各種コンテストへの挑戦、三年生工が、野菜を活用したスイーツの開発・

学校づくりを目指しています。教育活動の拡充を図り、特色ある温かい頂き、生徒一人一人の知識や技能を育むめ、地域の関係機関のご支援とご協力をこうした取組に対して、真狩村をはじ

一 実践概要

(一)有機農業コースでの取組

■有機JAS認証取得への取組

す。このため、平成二五年度より学校農ガニック食材に関心が高い方も多くいま人も多いのが特徴で、外国人の中にはオー内だけではなくインバウンドで来る外国観光資源に恵まれたこの地域には、国

使用するなどし、好評を得ています。などで販売するほか、菓子の原料としてた。昨年はトマトやミニトマト、サツマイモで有機JASの認証を取得しました。明年に有機JAS認証を取得しましり、同年に有機JAS認証を取得しまし

心を深めています。
生徒は授業を通して、専門的知識や技術はもちろん農業生産や地域の消費ニー

■GAP認証取得への取組

GAPに取り組むことで、わたしたちの達成に貢献しています。 の実現につながり、世界共通の目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」ので成に貢献しています。 のま現につながり、世界共通の目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」ので成に貢献しています。

産現場に求められています。海外への輸出には必須となるGAPが生

ました。本年度も授業や放課後の学習会トマトでJGAPの認証取得に取り組み本校では令和二年度からミニトマト、



JGAP認証取得のための学習会

経営改善の学習

■スマート農業への挑戦

や模擬審査会を経て一〇月に公開審査会

改善報告を行い、認証取得となりました。

生徒たちの経営改善の学習は、学校農

を実施し、

審査員から是正項目が示され

センターから講師を招き一・二年生がス講演会が行われ、道農業近代化技術研究昨年度下旬にICT利用の農業技術の

継続した取組を行います。

習の中でも特に教育効果が高く、今後も善に繋がりました。「GAP」は農業学場の合理化や整理整頓など農場環境の改



ICT利用の農業技術講演会



演についての感想を述べました。

・サすく、今度の農業利用が楽しみ」と講

・現状について動画の説明があり、分かり

・リスマート農業の現状について理解を深めま

ました。実演講習を受けた生徒は「操作が講師となり実演講習と映像講習を行い舵体験を行いました。機械メーカーの方が月下旬ロボットトラクターの自動操

を考える良い機会となりました。 により興味関心が高まり今後の農業課題 述べました。このように、実習時の体験 や直進がすごく簡単で驚いた」と感想を

野菜製菓コースでの取組

■製菓衛生師取得に向けた取組

まで一〇〇%、令和二年八七%、令和三 持しています(平成二七年から令和元年 ら資格取得に取り組み、高い合格率を維 明となります。本校では平成二七年度か 菓子の作り方など、幅広い知識を持つ証 この資格を取得することで、栄養や衛生、 多くのパティシエが持つ国家資格で、

職・進学ともに製菓分野への希望が多く、 エ」を目指し入学を希望する生徒も増加 新コース設立から七年が経ち「パティシ 高校での学びが生かされています。また、 野菜製菓を学ぶ生徒の進路状況は、 就

についての思いを発表しました。水は羊

ンで、パン作りには欠かせない水や素材 ンのみとなり、三人は、プレゼンテーショ 傾向にあります。

■各種コンテストへの挑戦

が出場し、一チームが最優秀賞を受賞し 過した一〇チーム七校が、 から三一チームが出場し、 ました。北海道の食材を使って、一三校 本選大会に本校からニチーム(二人一組) イン大会に出場しました。 七月のパティシエロワイヤル二〇二一 一次審査を通 本選のオンラ

作品は、 旬から二週間期間限定で販売されました。 シュー」と名付けられ、審査員による試 ぷり!ハスカップのまんまるクッキ**ー** 五分間のプレゼンテーションを行いまし いる」と高評価を得ることができました。 食では「ハスカップの酸味がマッチして た。出来上がった作品は「クリームたっ のレシピに基づきセイコーマートが制作 当日は各出場チームの作品を応募書類 審査員が試食したのち、各チームが 全道のセイコーマートで九月下

> 組で競い合いました。今年の審査は、オ 域の特産品を生かしたパン作りを三人一

ンラインによる五分間のプレゼンテーショ

海道各地から一次予選を勝ち抜いてきた 出場し、グランプリを受賞しました。北 inいわみざわ」の本選大会に一チームが

六校九チームの高校生が、それぞれの地



「パティシエロワイヤル2021」

また、一〇月に行われた「パン甲子園

空知黄と キタノカオリのチャバタ



「パン甲子園 in いわみざわ」 オンライン審査でのプレゼンテーション

ました。け、もちもちとした食感のパンに仕上げ

き出した「羊蹄の湧き水」を使用し、

蹄山に降った雨水が長い年月をかけて湧

審査員からは、「プレゼンテーション審査員からは、「プレゼンテーションを関かった」との講評をいただきました。を種コンテストへの挑戦は、生徒の主体性はもちろんのこと、生徒同士の対話を性はもちろんのこと、生徒同士の対話があり、学習の深化を図ることができました。

知黄とキタノカオリのチャバタ」と名付居で作り方を紹介しました。パンは「空黄」を生地に配合しており、手製の紙芝みが少なくほんのり甘いタマネギ「空知

連携した授業の取組地域産業・地域人材と

豆一〇〇粒運動 for High School」に日本における将来的な大豆の自給率向上について体験を通して学び、六次産業化への意識を向上させることを目的に、未への意識を向上させることを目的に、未来に大豆を残すためのプロジェクト「大来に大豆を残すためのプロジェクト「大中性生で未来の農業従事者を育成し、



ジュニア豆腐マイスター認定取得のための外部講師による講義



取り組んでいます。

を育てるべく制度化したもので、全四回 豊かな食を未来に継承すること」を理念 講します。ジュニア豆腐マイスターは日 す。並行して、生徒たちはジュニア豆腐 大豆を育成し、その大豆を豆腐製造業者 定されます。 の外部講師による講義を受講した上で認 に、豆腐を使った食育活動のできる人材 本豆腐マイスター協会が「豆腐を通じて マイスターの認定取得に向けた講義を受 が仕入れ、豆腐として商品化するもので プロジェクトは、生徒が年間を通じて

地域小学生との交流を 通した授業の取組

|地域小学校とのダイズの交流学習① (枝豆収穫

連携学習で、五月に予定をしていた第一 播種から豆腐作りまでを行う全四回の

> 枝豆を生徒、児童で試食しました。 童をサポートしました。収穫を終えた児 知識を生かし枝豆の収穫方法を教え、児 に取り組みました。高校生は身に付けた 用し高校生と小学生が一緒に枝豆の収穫 なども行いました。その後、採れたての スでは有機栽培されたミニトマトの試食 童は高校生の案内で農場を散策し、 回目の大豆の播種は中止となったが、第 一回目の九月の枝豆の収穫はマスクを着 ハウ



枝豆収穫

■地域小学生とのダイズの交流学習② (大豆収穫)

した。 中に入れ、袋詰めし、テープで結束しま さやから丁寧に大豆を取り出しバットの 緒に作業を行いました。乾燥した大豆の 生が収穫した大豆の選別方法を教え、一 高校生徒と小学生がペアを組み、 高校

最後に、本校で収穫したジャガイモを



大豆収穫

ゼントしました。皆で試食し、選別した大豆を児童にプレ

につながりました。対話的で深い学びから知識や技能の定着トすることで、生徒の主体性はもちろんを流し、学習で得た知識をアウトプッ

(五) プロジェクト活動による

おことができました。 サツマイモ栽培のプロジェクト学習で な生産物や商品の開発に意欲的に取り組 な生産物や商品の開発に意欲的に取り組 な生産物や商品の開発に意欲的に取り組みま な生産物や商品の開発に意欲的に取り組みま なことができました。



サツマイモ栽培プロジェクト学習





道の駅「真狩フラワーセンター」の販売会

(六)地域での販売会

交代で販売し、最初は緊張していたものに数回行われる校外での販売会ですが、昨年七月に約一年半ぶりに再開しました。 当日は多くの村民の方が訪れ、大盛況と はりました。新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった販売会ですが、昨年出場の方が訪れ、大盛況となりました。

後志教育局で行われたキッチンカーフェ めを行うことができました。この他にも、 の、慣れてくるとスムーズに会計や袋詰 ナーを学ぶ良い学習機会となっています。 マスケーキ等の販売会を行いました。 スティバルや公民館で毎年恒例のクリス 販売会は消費者ニーズの把握や接客マ



Щ 学習の成果と今後の課題

(一) 成果

とができ、生徒の興味関心を深めるこ り専門的な知識や技能の向上を図るこ とができました。 コースの専門性を生かした取組によ

技能の定着につながりました。 校種間連携による交流の場面でアウト や能力を身に付けることができました。 ることができ、将来に必要となる資質 地域の実情や取組について理解を深め プットすることで、学びを深め知識や 地域の外部講師と連携することで、 日頃の授業で学んだ知識・技能を異

(二) 今後の課題

層充実させ、幅広い知識や技能の習 地域産業や地域人材との連携をより

五 おわりに

ていきます。 地域に貢献できるように新たな取組にチャ レンジすることで魅力ある学校を目指し きました。今後も地域のニーズに応え、 い手の育成に関わり地域とともに歩んで 七三年の歴史の中で、地域の農業や担

:

だきました。 、現・北海道美幌高等学校) にご担当いた 執筆・写真提供は、 安彦勇二教頭先生

学びを推進する必要があります。 種プロジェクト活動に挑戦し、探究的 より多くの生徒が、コンテストや各



今回は私の所属する何寒・釧路也或の原いいたします。とことになりました。この度ご縁があり一年間、このコーナーを担当させていただくことになりました。この度ご縁があり一の後継者をパートナーとして一緒に酪農の後継者をパートナーとして一緒に酪農

てくれました。

場で働いている籔内直美です。この牧場

はじめまして。北海道釧路市の浅野牧

紹介していきます。その後の活動、今後の目標等についてごいっト)」について、立ち上げの経緯や配農女性グループ「Becotto(べ酪農女性グループ「Becotto(べ

「Beco++o」発足 酪農女性グループ 友達ができた!

感じていました。そんなときに農協青年知らない土地で、友達もおらず寂しさをも疲れていました。気晴らしをするにも以外に友達も知り合いもいませんでした。以外に友達も知り合いもいませんでした。

同じような境遇、同じような仕事、

増えてきたので女子会をやろう」と誘っうちに、そのうちの一人が「女子部員が農家にお嫁にきた人や、実家の牧場で酪農をやっている人など同年代の女性が数農家にお嫁にきた人や、実家の牧場で酪

初めての女子会は大盛り上がり‼こんなにはしゃいだのは久しぶりというくらなかなか言う機会がなかった話に共感しなかなか言う機会がなかった話に共感したのであるたり、とても楽しかったことを覚えています。この女子会をきっかけに、えています。この女子会をきっかけに、カ六人で活動がスタートしました。後から聞いた話で、実は青年部に女性がいるら聞いた話で、実は青年部に女性がいることは珍しいとのことでした。同じ地域のないないとの大人で活動がスタートしました。

いだったのでは!と今でも思います。 しかも同年代の同性、これは奇跡の出会

Beco++oの名前とロゴ

「べこっと」を選び、さらに英語表記に になりました。 し最終的に「Becotto(ベコット)」 意味)にリズム良く「っと」をつけた 「べこ」(北海道や東北の方言で牛という し合い、三〇個ほどの候補の中から、 グループの名前はみんなでいろいろ出

と女の子っぽく」「子牛の柄はこんな感 出してもらい、みんなで「女の子をもっ した。友人に何パターンかアイディアを んなで作ったロゴは私たちの顔となりま とても可愛くロゴにしてくれました。み 合いました。その意見をまとめて友人が ゴで、色はオレンジで」など意見を出し じで」「釧路の夕日をイメージした丸口 友人にお願いしてロゴを作ることにしま たので、大学時代のイラストレーターの さらにみんなで共通の旗印が欲しかっ

> た友人には感謝です。 した。こんなに素敵なロゴを描いてくれ



牛乳のみてえTシャツと オリジナル牛グッズ

えていたときに、牛乳のみてぇTシャツ 集まり、何かお揃いのものが欲しくて考 中に大きく「あー、牛乳のみてぇ」と書 た。Becottoを結成してみんなで カラーバリエーションは三色くらいでし いて、私も買って着ていました。その頃 売していました。青年部のみんなも着て いてあるTシャツを作って、仲間内に販 結成前から、牛乳の消費拡大のために背 メンバーのひとりがBecottoの

> 作っているメンバーが「このTシャツ、 ドです。 各々の固有カラーとしました。なんだか ブルーで、Tシャツを作っているのはレッ たりもしています。ちなみに私はライト グリーン、ライトブルーの六色。このカ ンションが上がったことを覚えています。 戦隊もののヒーローのようで、とてもテ がら、好きな色をそれぞれ選び、それを しました。ある程度のバランスを考えな ので、それをユニフォームにすることに いろんな色が選べるよ」と言ってくれた ラー名がそのままSNS上での呼称になっ レッド、オレンジ、ピンク、パープル、

が言ったことです。 いのよ!」と牛グッズ好きであるピンク ね?」という話から「なければ作ればい きっかけは「牛グッズってあまりないよ 分たちでもグッズを作ることにしました。 この牛乳のみてぇTシャツを参考に自

単にいろいろ作れるので、Becott oとしてはロゴの缶バッチとポストカー デザインがあればインターネットで簡

の写真でポストカードを作りました。せて多彩に作っていました。私個人も牛カップ、髪ゴムなどを手作りと組み合わンした牛の手ぬぐいやコースター、マグドを作りました。ピンクは自分でデザイ

せています。 ていただいています。そのおかげでグッ さいました。そこには定番となった牛柄 に移りました。その際に、なんとBec その後もいろんなグッズを作ってみては さんが買ってくれ、自分たちの作ったも んなで温泉旅行に行けたらと夢を膨らま ズも好評をいただき、売上金でいつかみ Tシャツ、牛マスクを目立つように並べ タオルやロゴ柄の手ぬぐい、牛乳のみてぇ ottoグッズのコーナーを作ってくだ お店はリニューアルした阿寒の道の駅内 販売させていただきました。そしてその のが売れたことにとても感激しました。 になりました。牛好きの方や観光のお客 り合いのお店で販売させてもらえること 出来上がったグッズは、メンバーの知



├柄タオルと Becotto 手ぬぐい



何だろうとなり、

のだろう、基本は

酪農の基礎を学ぼう!何が正解?

月一回程度の女子会を何回かやっているうちに、みんなが牧場で哺育(子牛にはした。「子牛にミルクを飲まない子牛にはどうしている?」「ミルクを飲まない子牛にはどうしている?」「下痢対策って何かある?」など仕事の悩みをお互い言い合っていると各牧場でやり方はそれぞれ違う

れてみたりと日々の仕事の向上につなが

題がある人は他のやり方を参考にして、 いところを普及員の方に解説してもらい のいいところは詳しく聞いたり、取り入 工夫していることなどを共有し、 やり方を変えたりしてみました。他にも、 ぞれの数値と比べてみました。現状に課 量や濃度、回数など)して教科書やそれ た。各牧場のやり方を数値化(ミルクの 後は哺育を深掘りしていくことにしまし ました。ざっくりと酪農の基礎を学んだ なり、みんなで集まって資料のわからな 勉強会 そして、月一回の てもらいました。 べる資料を用意し ンターにお願いし た。そこで普及セ 酪農の基礎を勉強 女子会が勉強会に て酪農の基礎を学 することにしまし お互い

ればとやっていました。

に良い影響が出ればと思います。

に誘い合わせて行き、行けなかった人に

に誘い合わせて行き、行けなかった人に

たちがレベルアップすることで牧場経営

たちがレベルアップすることでも場話と

に誘い合わせて行き、が明のセミナー

写真展 & SNSでの発信

私はもともと写真を撮るのが好きで、 物場に来てからはよく牛や空を撮ってい は酪農をやっている特権ですし、こんな に綺麗な空を撮れるのも釧路(特に夕日 が有名)にいるからだと思っています。 そこでふと牛だけでなく、「自分たちと 牛を一緒に撮ったらいい感じでは?しか も放牧地で!」と思いつき、みんなに提 をしました。みんなノリ良く提案を受け

旬に、それぞれのカラーの牛乳のみてぇそして放牧が始まり青草が茂る五月下

ttoの代表的な写真となりました。 ている姿をカメラにおさめ、そのあと私 した。メンバーが好きなように牛と戯れ ている姿をカメラにおさめ、そのあと私 も撮ってもらいました。三脚を持ってき も撮ってもらいました。三脚を持ってき フトしてある「牛乳のみてぇ」の文字が 見える後ろ姿の一枚が、今ではBeco 見える後ろ姿の一枚が、今ではBito



後ろ姿の集合写真

告知したりしました。その甲斐もあり写真展は好評で、地域産業である酪農についてや、酪農家には私たちのような年代の女性もいることなどを知ってもらう良い機会となりました。ありがたいことにい機会となりました。ありがたいことにい機会となりました。ありがたいことにいけの牛乳のみてぇTシャツがカラフム代りの牛乳のみてぇTシャツがカラフム代りの牛乳のみでことや、ユニフォーム代りの牛乳のみでことや、ユニフォーム代りの牛乳のみでえていきただきました。視覚的にもわかりやすい写真を中心とした発信だったことや、ユニフォーム代りの牛乳のみでえていきただきました。その甲斐もあり写真展がある。その甲斐もあり写真といてもいてもいいできる略農の方法というである略にある。

でいる姿に私たち自身も励まされます。ない牧場生活を、自分たちらしく楽しん動物相手で休みが少なく、決して楽では良い認識を得られることも大きいです。良い認識を得られることも大きいです。また、写真の中で楽しそうにしている

Becotto展二〇二二川柳コンテストと酪農&牛乳あるある

○年の一月二○日~二月一○日には
 ○年の一月二○日~二月一○日には
 ○本得て新聞記事にて募集しました。そして三月一日~三一日に地元の温泉施設の
 ○本書の一月二○日へ二月一○日には
 ○本書の一月二○日へ二月一○日には

消費しています」「頑張ってください! 国から七四名一九二句のご応募があり大 をせな気分になれるものばかりでした。 大共感できたり、牛や牛乳への愛があふれていたりと、読んでいてとても楽しく 幸せな気分になれるものばかりでした。 応募の際には「楽しい企画をありがとう」 「子ども達牛乳大好きで、毎日一~二没 「子ども達牛乳大好きで、毎日一~二没

> 応援しています」などのメッセージを添えてくれる方がいてとても嬉しかったです。 「は秋田県の酪農家、ペンネームみんずさんの「蹴らないで、哺乳したじゃんずさんの「蹴らないで、哺乳したじゃんずさんの「蹴らないで、哺乳したじゃんがきく成長した牛に作業中蹴られてしまう悲しみにとても共感できました。子牛のときの可愛かった面影はどこへやら、大きく成長した牛に作業中蹴られてしまう悲しみにとても共感できました。それを、メンバーが選んだライトブルー賞、ピレッド賞、パープル賞、グリーン賞、ピレッド賞、パープル賞、グリーン賞、ピレッド賞、パープル賞、グリーン賞、ピレッド賞、パープル賞、グリーン賞、ピレッド賞、パープル賞、グリーン賞、ピレッド賞、パープル賞、グリーン賞、ピール・ファージを添えています。



酪農&牛乳あるある川柳コンテスト

ンク賞を選び、それぞれにコメントをつけました。Becottofyの かてぇTシャツとBecottofyが、 作マスク)を、そしてメンバー賞にはそれぞれのカラーの牛乳のみてぇTシャツとBecottofyが、 中マスク)を、そしてメンバー賞にはそれぞれのカラーの牛乳のみてぇTシャツを を賞品として贈りました。そしてこの企を で農家の友一年分を賞品として寄贈した。 と農家の友一年分を賞品として寄贈した。 と農家の友一年分を賞品として寄贈した。 で農家の友一年分を賞品として寄贈した。 ととして贈りました。そしてこの企 を賞品として贈りました。そしてこの企 を賞品として贈りました。そしてこの企 を賞品として贈りました。そしてこの企 をで書いてださった北海道農業総合月刊 が」とのお声がけをいただくことになり の友一年分を送っていただくことになり まりた。

を紹介し、見応えあるものになったと思います。大変嬉しいことに新聞やテレビいます。大変嬉しいことに新聞やテレビいます。大変嬉しいことに新聞やテレビの牛乳廃棄の危機や、酪農界の盛り上げのサリーでも貢献できていたら幸いです。ちなみに現在でもBecotたの川柳展示ではご応募いただいた全ての川柳

(https://www.facebook.com/Becotto946)

みんな違って当たり前突っ走りすぎは禁物

うんだな」とわかってからは肩の力が抜 りました。「そうか、みんなそれぞれ違 たいことはバラバラだということがわか くことにしました。そうしたら、みんな くなり出したりしたところで気付きまし をしてしまっていました。LINEの返 が先走りしすぎて、かなりのむちゃぶり 思う時期がありました。結成当初は仲間 活動がみんなの負担になっているかもと そうではなく、私が突っ走りすぎていて がBecottoや牧場生活の中でやり ではなかったと思い、みんなの意見を聞 た。「あれ?楽しくない…」こんなはず 信がなかったり、集まるメンバーが少な んのことをみんなでやりたいという想い ができたことがとても嬉しくて、たくさ ずっと順風満帆に来たかというと実は

ずやっていけたらいいと思うようになりけ、お互いの意見を尊重しながら無理せ

ました。

永久欠番のオレンジ 六人から五人へ。

活動を共にしたいと思っています。 この一八年にメンバーの一員であるオレンジが、牧場の後継者である彼氏と別れたため釧路から去ることになりました。 とても残念でしたがオレンジの新たな門出をみんなで応援しています。メンバーが減ったからといって増かすつもりはなかったので、オレンジはかずつもりはなかったので、オレンジはなが戻ってきたら、またオレンジとしています。

モットーに長~く続く 酪農生活を楽しむ」を

活を楽しむ」です。農家の高齢化、深刻Becottoのモットーは「酪農生

Becotto 5人で活動中

内容は「私たちが楽しいこと!」。これ たことです。 が楽しいと思えることや、やりたいと思っ 様々なことをしてきました。全て私たち 真展、グッズ製作・販売、牧場視察など まで女子会や勉強会、放牧地撮影会、 はないかと考えています。そのため活動

る本人が「酪農なんて」「田舎なんて」

「汚いキツい臭い」などマイナスなこと

な担い手不足である酪農界で、やってい

いる仲間の存在はとても大きいです。 も過ごせます。同じ地域で酪農をやって です。おしゃべりしているだけで何時間 楽しめる大きな要因は仲間がいること

れる人、酪農をやりたい人が増えるので それを発信すれば酪農に興味を持ってく やっている私たちが酪農生活を楽しんで 自分たちの生活を楽しめばいい。

酪農を

す。だったら楽しいことを増やせばいい、 大変なことがあるのはどの業界も同じで ばかり言っていては人なんて来ません。

りや可能性をさらに広げ発展していけれ その様子を発信し続けることで、つなが そこからゆとりを作り、さらにいろいろ 楽しみながら切磋琢磨し仕事に活かし、 めにはお互い無理をし過ぎず、みんなで できる仲間であり続けたいです。そのた でき一緒にいろいろなことにチャレンジ い付き合いになるので、何かあれば相談 メンバーとは同じ地域で何十年という長 なことに取り組んでいきたいです。また、

内 直 美 さん 昭和62年生まれ、兵庫県神戸市出身。

大学院卒業後、三重県の農業資材関 連の会社に就職。

農業資材を販売するうちに自分でも 農業をやりたくなる。

んな時に大学時代の先輩に声をか けられ酪農界に転職。

酪農をしながら日中は趣味の野菜栽 培や狩猟、釣りなどを楽しむ。

阿寒・釧路地域の酪農女性グループ 「Becotto(ベコット)」の代表でもある。



ける」こと。

は「長~く続

今後の目標

救われます。 もその存在に だりしたとき だり落ち込ん せるし、悩ん が楽しく過ご 活や酪農生活 ら釧路での生 んながいるか

ば良いなと思います。



新年度を迎え 〜理事会で事業計画を協議・決定〜

(令和4年1月~3月)

■北農五連委託事業に係る現地調査等

(1月9日・10~11日)

ました。 北農五連から受託した研究課題について、現地調査を行い

■北海道農産物協会委託事業に係る中間および最終報告

(1月19日、3月18日)

に対し、調査研究内容の中間および最終報告をそれぞれ行い北海道農産物協会から受託した研究課題について、委託者

ました。

■自主研究「北海道農業協同組合史に関する調査研究」に係る

自主研究課題について、研究者の同席によりリモート対応究会 (1月20日、2月18日、3月31日)

等による研究会を開催しました。

■自主研究「コロナ禍を契機とした新しい生活様式の構築

農村からの提言」に係る研究班会議

自主研究課題について、研究者の同席により研究班会議を

(1月31日、3月22日)

行いました。

|北農五連JA営農サポート協議会委託事業に係る研究班会議

(2月4日)

研究班会議を行いました。ついて、研究者の同席により調査結果の取りまとめ等に係る北農五連JA営農サポート協議会から受託した研究課題に

■中央会委託事業に係る研究班会議

り調査結果の取りまとめ等に係る研究班会議を行いました。中央会から受託した研究課題について、研究者の同席によ

■北農五連委託事業に係る報告会 (2月7日、3月1日)

リモート対応による研究報告会を開催しました。 北農五連から受託した研究課題について、オンラインでの

■令和三年度農業総合研修会の開催

(2月15日)

講演内容は今号の「特集コーナー」に掲載しています。 ラインによるリモート対応で行い、六八名が参加しました。 畜産物流通コンサルタントの山本謙治氏による講演を、オン 「日本と北海道の食はエシカルを目指す」をテーマに、農

■北農五連JA営農サポート協議会委託事業に係る現地調査

北農五連JA営農サポート協議会から受託した研究課題に (2月16日)

ついて、現地調査を行いました。

■北農五連JA営農サポート協議会委託事業に係る報告会

北農五連JA営農サポート協議会から受託した研究課題に (2月21日) 対面に

ついて、報告先別にオンラインでのリモート対応と、 よる研究報告会をそれぞれ開催しました。

■中央会委託事業に係る報告会 (3月3日・4日・15日)

中央会から受託した研究課題について、研究報告会を開催

しました。

■北海道農業公社委託事業に係る現地調査 (3月13~14日)

北海道農業公社から受託した研究課題について、現地調査

を行いました。

■令和三年度参与会の開催

(3月14日)

り進めてまいります。 を多数いただき、今後の事業推進への反映に向けて鋭意、取 令和三年度参与会を開催し、参与の皆様から貴重なご意見

■自主研究「学校給食向け地場産青果物の集出荷体制に関する

調査研究」に係る現地調査

自主研究課題について、現地調査を行いました。

■ホクレン委託事業に係る報告会

(3月22日)

催しました。 ホクレンから受託した研究課題について、研究報告会を開

■令和三年度第五回理事会の開催

(3月30日)

報告するとともに、令和四年度事業計画案ならびに収支予算 令和三年度事業ならびに調査研究事業の実施結果について

案等について協議し、決定いたしました。

64

参与会(3.14)



第5回理事会(3.30)

研究会・研修会等への報告者 講師の派遣

○「第一一七回村づくり・

テーマ

報徳概論:

人づくり冬期報徳研修会」

主 催 一般社団法人北海道

報徳社

 \succeq

₹

1月19~21日

一宮尊徳の思想、

北海道報徳の歴史

演 石田 健

(当研究所・常務理事)

講

人づくり冬期報徳研修会」

主 催

ح テーマ ŧ 1月19~21日

演 黒澤 不 男

講

(当研究所・顧問)

〇「中央アジア地域農民組織 強化コース」補完研修

主 ح 催 2月7~9日・ JICA北海道

テーマ アクションプラン 21 ⊟

コース長 坂下 明彦

作成指導

へ 退

(当研究所・所長)

○「第一一七回村づくり・

○「農民参加による農業農村

報徳社 一般社団法人北海道

主

JICA北海道

開発(B)」

 \succeq

ŧ 催

2 月 25 日

報徳仕法の近代性に

講

演

石田健一

学ぶ

(当研究所·常務理事)

テーマ 「報徳」精神と農業

人事 異 動

へ 新 任 >

研究部長 今 野 貴 紹

(3月1日付)

道 下 徹

参

与

(4月1日付)

棚 橋 知

専任研究員

(4月1日付)

専任研究員 職 > 脇 谷 祐 子

(3月31日付)

— 65 —

必要性を強く感じさせられまし

一人一人の具体的な行動

四〇年以上





とが懸念され、 を覚えました。 二〇五〇年カー

雪は、 今冬の記録的豪

る異常気象が一般化して行くこ いる身でも、日常生活での脅威 北海道で暮らして 地球温暖化によ

癒されることが、とても新鮮で を掛け合うことで、 かしらの一体感を感じながら声 という共通の作業を通じて、 やはり、 共感を得るため 心身ともに 何

ボンニュートラル実現へ向

ίŤ σ

> ニケーションの量の拡大につな 隣近所の方々と、つらい雪かき がったと実感する場面もありま した。ふだんは顔を合わせない あって不足がちな人々のコミュ 一方でこの雪は、 コロナ禍

急遽Web開催としました。 ◆また、JR・バスが全面運 ているのかもしれません。 大な土地を考えると、これから 海道では、 するなかで、 の社会では、 は 共通の体験が必要で、 特に冬の気象と、 それが不足してき いくつかの会議を 広 北 休 今

DATA FILE

関連事項/DATA

株式会社 グッドテーブルズ

〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-13-5 松源ビル5F

2 03 (3525) 4545

HP: https://www.goodtables.jp

公益財団法人 北海道農業公社

〒060-0005

札幌市中央区北5条西6丁目1-23 北海道通信ビル 6 F

2 011 (241) 7551

北海道真狩高等学校

〒048-1611

虻田郡真狩村光6 **2** 0136 (45) 2357

一般社団法人 北海道地域農業研究所

〒060-0806

札幌市北区北6条西1丁目4番地2 ファーストプラザビル 7 F

011 (757) 0022 Fax 011 (757) 3111

HP: https://www.chiikinouken.or.jp E-mail: office47@chiikinouken.or.jp



技術が進化し、

リアルタイムで

スタン紛争の時にも増して通

経験した、

湾岸戦争、

アフガニ

クライナへの侵攻では、

過去に

あれば、 る機会を与えてくれたと思って 代へ伝えたいと思います。 戦況が伝えられ、 ◆この冬は、 える思いです。 力による平和への希望の光が見 を活発化していることに、 中の人々が、 もしっかり記憶に留め、 えできない形のデジタル情報 等があろうとも、 気持ちになってしまいます。 ンに関わる、 なることを期待しつつ、 双方の新たな側面を垣間見 いかに事実と異なる報道 後世での検証が可能 コミュニケーショ アナログとデジタ SNS等での活動 事実を書き換 やりきれな 自分で 次の世 絆の 世界 ح が

下旬に突然始まったロシアのウ

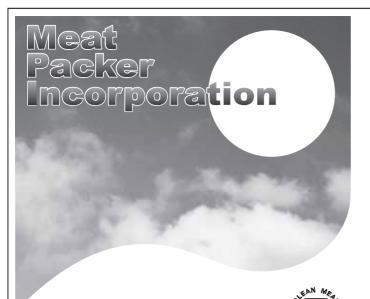
もデジタルの活用が大きな力と

います。

なると思います。

そして、

一月



安全・安心な食肉を 真心こめて 全道5工場から 全国の皆様へ お届けします。



株式会社 北海道畜産公社

代表取締役社長 岡本 安司

本社 〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 共済ビル3階 T E L (011) 242-4129 F A X (011) 242-2929

想う 創る 伝える **薬岩川の麓の印刷会社**

オフセット印刷・オンデマンド印刷・大型プリント/製本/編集・企画デザイン

KOHANSHA

株式会社 辻孔版社

〒064-0927 札幌市中央区南27条西11丁目1-8

TEL(011)561-5252 FAX(011)561-6708 E-mail/tuji-kohan@mountain.ocn.ne.jp http://www.tsuji-kohansha.com/







この大地には、農と食の未来を 大きな夢と志で 切り拓こうとしている人たちがいます。

「拓くぞ!未来」は、

そうした北海道農業の 新たな可能性を掘り起こし、

熱いエールをおくるプロジェクト。

これまでも、そしてこれからも、

北海道農業の未来を発信していきます。



オホーツク農業/豆・玉ねぎ篇

IT酪農篇

食とスポーツ/ホクレン女子陸上競技部篇

